

I. 事業の概要	
1. 事業名称	エコツーリズムの地域間連携を通じた、マダガスカル東部タンブル湖周辺農漁村の持続可能なまちづくり促進
2. 活動国・地域	マダガスカル共和国 トアマシナ州アナランジルフ県フェネリブエスト郡タンブル湖周辺農村（ラントウラーバ地区/FKT）
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	住民による観光開発の取り組む別地域との交流を通じ、当該地域の自然と共生したまちづくり推進に携わる住民らの、エコツーリズムの企画・運営能力の強化を図る。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	当該地域において、先行事業で整備された観光基盤（20名の住民ガイド養成や観光スポット整備、地域住民によるイベント開催など）と育成された住民ガイドの活動を発展させ、持続可能なエコツーリズムを推進する。住民ガイドらの観光経験が乏しいため、主体的な企画・運営能力の強化が必要とされている。本事業では、現地 c/p であるアンタナナリブ大学大学院農学研究科（ESSA）と連携し、同様に住民主体の観光開発が進むマンジャカ地域との交流を通じて、住民ガイドの技術向上や実践的知識の共有を図る。日本人専門家は、事業開始前に行った現地調査の成果を踏まえ、既存の地域資源を最大限に活用した活動となるよう助言を行うとともに、観光資源や地域の取り組みを対外的に分かりやすく伝えるため、情報発信ツールを現地関係者と協働で製作する。
6. 事業の意義・目的	本事業は、地域資源と健全な生態系を活かした観光振興、地元製品の販売や環境保護活動を通じた経済活性化に貢献する。地域間での学び合いを基盤に、住民が主体的に取り組む持続可能な観光業の発展と自立的な地域社会の形成を目指す。
7. 主な対象者（受益者）	住民ガイド：タンブル湖周辺 33 人、マンジャカ 12 人、蜂蜜農家：15 人 【その他間接的受益者】 婦人会 300 人を含む地区住民約 1800 人 400 世帯
8. 実施期間	（西暦）2026年2月～2027年2月
9. 活動内容	活動 1： 再構築された日マ協力体制のもと、関係者間でプロジェクト体制・計画の最終整理（準備・合意形成）を行う。 活動 2： マンジャカ等先進地の視察をつうじて、住民ガイドとの意見交換を行い、観光ニーズを踏まえた地域観光促進アクションプランを策定する。 活動 3： 観光スポット整備、地域特産品の生産・販売促進、フィールド間連携、生活向上製品の PR、環境保全型観光の推進など、選定したアクションプランを実践する。
9. 事業費	1,000,000円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	カントリーパーク新浜
2. 主な活動内容	農薬・化学肥料不使用の稲作、東日本大震災後の沿岸地域の自然の保護、自然や伝統的な暮らしとの触れあいを通じた体験学習の機会を創出。